

## オオカワトンボ

トンボの季節がやってきました。7月中旬ともなれば札幌でも暑くなります。2012年7月19日、参加者全員で第一木道の架け替え工事をやりました。木道というより木橋というべきですかね。この日はオホーツク高気圧が南下して気温は25℃と予報されたとおり、時折涼しい風が吹いてくれて、土木工事の力仕事をあまり汗もかかずにやっていました。気づいた人もいたのでしょうか、トンボが工事最中



の橋に止まったりします。オオカワトンボでした。この固体は動きが活発でデジカメのファインダーに収まってくれません。止む無く映像は以前にゲットしたものを使います。

図鑑「札幌の昆虫」には、カワトンボ科としてはこのオオカワトンボ1種のみが記載されています。これしかないということでしょう。少年時代の記憶の引き出しで徴びていた九州の地方名オハグロトンボとして以前に「森ボラ通信」の記事にしたのですが、正式和名はオオカワトンボです。亜麻色の羽を持つのは♂で、♀の羽は透明と図鑑には記されています。インターネットで調べてみますと、♂でも透明羽のものがいたりして、決め付けられないことが判りました。形はイトトンボ型です。体長は45～53ミリ。



この日オニヤンマも見かけましたが、スーッと通りすぎられただけで、手も足も出されません。前回(17日)は基地でサナエトンボらしきものがパトロールしていましたが、静止してくれませんでした。確認できませんでした。見ただけで判別できるトンボも幾種かはありますが、殆どはしっかり撮影するか捕まえてみなければ、同定できないものです。



橋は完成しました。旧橋とは構造が違います。橋脚なしで長さ4mの太めの丸太2本を桁にして、天板を貼る形です。新橋の方が渡るに安定感があります。リヤカーも渡れます。距離も短くなりました。丸太を運ぶのに新設備のエンジン式ウィンチが活躍しました。チルホールをエンジン駆動するようなものですから、架線方式は皆なじんではいけません。高齢者集団なので腰や膝を痛める危険を減らす優れものであることが良くわかりました。